

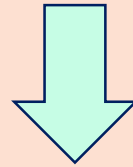
令和4年度 平野区運営方針の振り返り

【概要版】

平野区区政会議 （令和5年5月29日）

区目標

- すべての人がお互いを尊重しつつ、つながり、支えあえるまち『ひらの』をめざす。
- 誰もが愛着を持ち、安心して住み続けることができるまち『ひらの』をめざす。
- こどもたちが家庭・学校・地域で育まれ健やかに成長し、次の世代を担っていくことができるまち『ひらの』をめざす。



今後の改善方向

将来ビジョンや地域保健福祉計画においても大切さがうたわれているように、これまで以上に人とのつながりは重要性を増しています。

区における様々な課題に対し、異なる分野の取組を連携・協働することでその解決を図りながら、各取組を通じ、地域内、地域と区役所など、あらゆるつながりを主体的に醸成し大切にするとともに、これまで培ってきた様々な取組を広報紙をはじめHPやSNSなど多様なツールを活用して積極的に発信し、「次世代につなげる(継承する)」ことで、平野区を笑顔で暮らしやすいまちにすることをめざした取組を進めていきます。

令和4年度 平野区運営方針

経営課題1	地域に応じた安全・安心のまちづくり	11 住み続けられる まちづくりを	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	
【めざすべき将来像】 誰もが愛着を持ち、安心して住み続けることができるまち『ひらの』をめざす。	【具体的取組】 1-1 地域防災力向上に向けた支援 1-2 地域防犯力向上に向けた支援 1-3 地域活動力向上に向けた支援 1-4 まちの魅力の向上に向けた未利用地の有効活用			

経営課題2	すべての人と人がつながり支えあえる福祉のまちづくり	3 すべての人に 健康と福祉を	10 人や国の不平等 をなくそう	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	
【めざすべき将来像】 すべての人がお互いを尊重しつつ、つながり、支えあえるまち『ひらの』をめざす。	【具体的取組】 2-1 各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の充実 2-2 地域における支えあい活動への支援				

経営課題3	こどもが元気で育つまちづくり	1 貧困を なくそう	4 質の高い教育を みんなに	10 人や国の不平等 をなくそう	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	
【めざすべき将来像】 こどもたちが家庭・学校・地域で育まれ健やかに成長し、次の世代を担っていくことができるまち『ひらの』をめざす。	【具体的取組】 3-1 児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援 3-2 こどもの学習意欲の向上 3-3 こどもたちへのサポートや学校生活の定着支援					

経営課題1

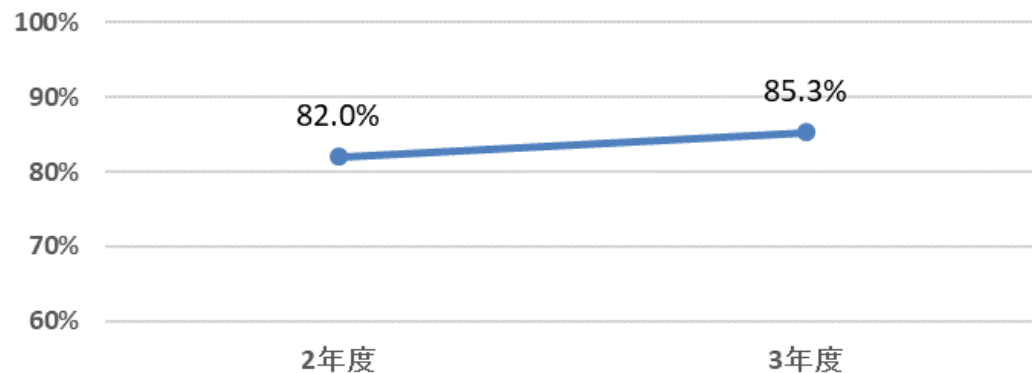
地域に応じた安全・安心のまちづくり(防災)



めざす状態(概ね3～5年間で設定)

- 防災リーダーが中心となり、自主防災組織による主体的な取組を実施することにより、防災意識の普及啓発に努め、地域住民が防災に高い関心を持っている状態をめざす。

自助に取り組んでいる割合



【出典】ひらの区民モニターアンケート

防災意識が高まったと感じる割合

目標: 令和7年度末までに85%以上 ➡ 実績: **70.8%**

【出典】ひらの区民モニターアンケート

防災リーダーのスキルアップや地域での防災訓練の実施支援など取組を進めたが、コロナ禍の影響により、防災に関するイベントや訓練の縮小等が長期間続いた結果、防災意識の継続が困難な状況が生じた。今後は、コロナ禍の収束を踏まえて、イベントや訓練等の開催により、防災意識の普及啓発に努める必要がある。

具体的取組1－1 【地域防災力向上に向けた支援】

防災リーダー連絡会議や研修会を開催し、各地域の取組事例の共有や防災知識・技術の向上を図るとともに、消防と連携して地域防災訓練の実施支援を行いました。

（取組実績）

- 小中学校で実施する防災の取組 11回
- 地域での防災訓練 14回
- 防災リーダー連絡会議 3回
- 大和川氾濫時の浸水深表示
- 各種防災情報の発信



【学校での防災訓練】

取組によりめざす指標の達成状況

防災の取組を通じて自助・共助の大切さを感じる割合

目標：60%以上 ➡ 実績： **94.1%**

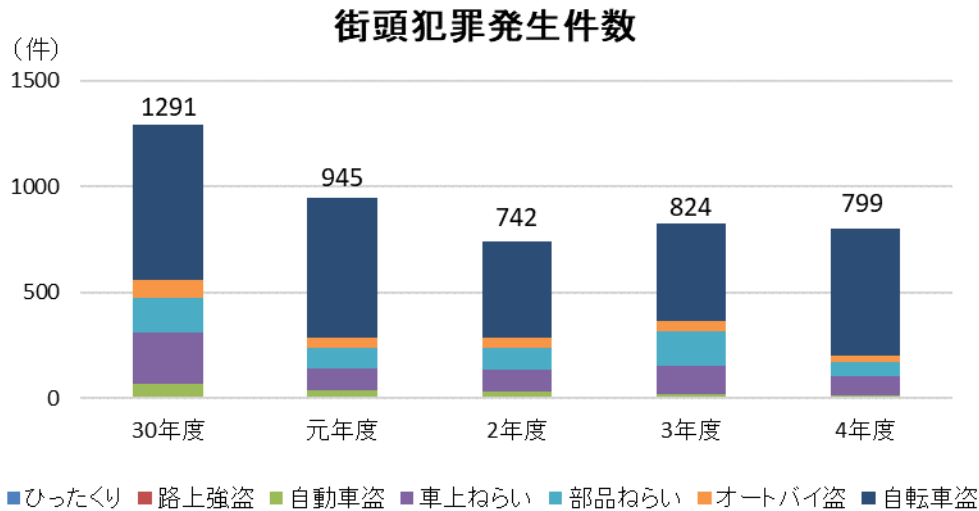
【出典】ひらの区民モニターアンケート

経営課題1

地域に応じた安全・安心のまちづくり(防犯)

めざす状態(概ね3～5年間で念頭に設定)

- 地域住民との協働や警察との連携によって、より安全で安心なまちづくりを推進している状態をめざす。



【出典】市民局(大阪市区別街頭における主な犯罪発生件数)

防犯意識が高まったと感じる割合

目標: 令和7年度末までに80%以上 ➡ 実績: **62.8%**

【出典】ひらの区民モニターアンケート

街頭犯罪発生件数は、昨年度とほぼ横ばいであり、車上ねらいや部品ねらいなどが減少したものの、自転車盗については前年より発生件数が増加している。

防犯啓発の内容を再検討したうえで、地域住民や警察と協働で取組を行い、地域防犯力の向上をめざす。

具体的取組1－2 【地域防犯力向上に向けた支援】

地域・警察等との協働によるパトロールや防犯キャンペーン実施により、地域防犯力向上につとめました。
また、65歳以上の方を対象にした「特殊詐欺被害防止機器」の無償配布を始めました。

（取組実績）

- 防犯カメラの設置 12台
- こども110番の家の現地確認 476箇所
- 民間企業と連携した自転車盗啓発 1回
- 地域住民との合同パトロール 81回
- 平野警察署及び地域住民との合同防犯キャンペーン 22回
- 犯罪発生場所の職員によるパトロール強化 15回
- 特殊詐欺被害防止機器の配布 109台



【地域での見守り活動】

取組によりめざす指標の達成状況

防犯啓発やパトロールが犯罪発生抑止に効果があると答えた割合

目標：80%以上



実績： **61.8%**

【出典】ひらの区民モニターアンケート

経営課題1

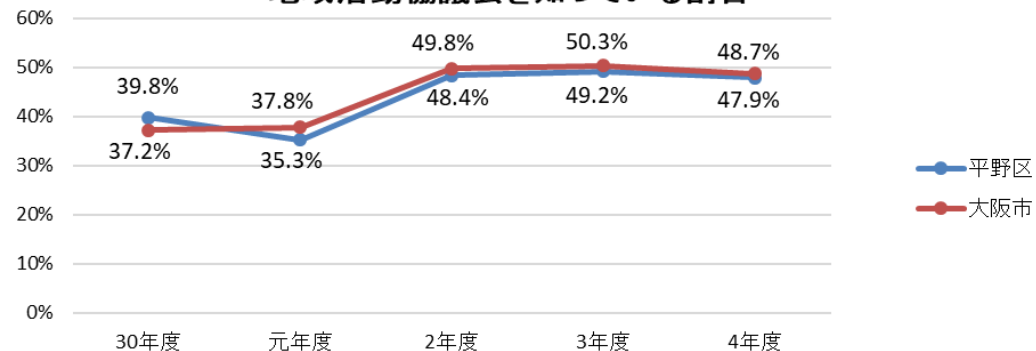
地域に応じた安全・安心のまちづくり(地域活動力向上)



めざす状態(概ね3～5年間で念頭に設定)

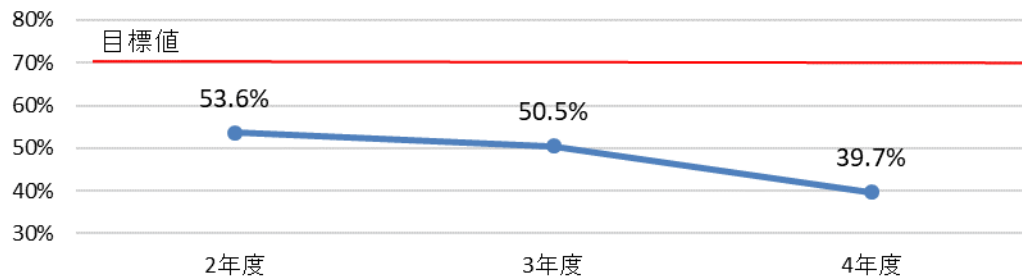
- さまざまな人が地域活動に参加し、地域団体間での連携・協働が行われ、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態をめざす。

地域活動協議会を知っている割合



【出典】区民アンケート(市民局実施)

地域活動協議会を知っている方のうち活動に参加したことがある及びしようと思っている割合

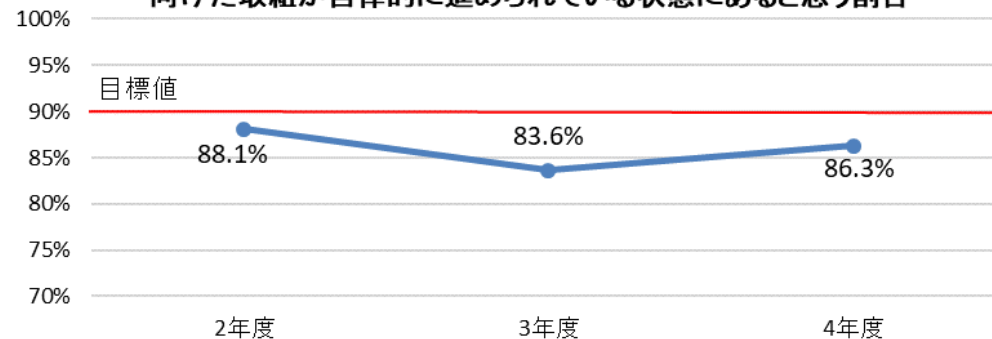


【出典】ひらの区民モニターアンケート

コロナ禍による活動自粛の長期化に伴い、大阪市平均と同じく、地活協の認知度は横ばい状態である。

ボランティア離れも顕在化していることから、活動の円滑な再開に向けた必要な助言や支援の必要がある。

地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合



【出典】地域活動協議会への支援等に関するアンケート

具体的取組1－3 【地域活動力向上に向けた支援】

コロナ禍による活動自粛の影響から十分な情報発信は困難であったが、感染防止対策を取りながら実施している事業を紹介するほか、地域活動協議会に対する会計処理や広報紙の創刊など自律に向けた支援を行いました。

（取組実績）

- 広報紙やインスタグラムなどで地域活動協議会の広報活動を支援
- 財政的支援のほか、中間支援組織を活用した会計処理や広報活動など自立に向けて支援



取組によりめざす指標の達成状況

地域活動協議会を知っている方のうち活動内容を知っている割合

目標:40%以上



実績: **57.5%**

【出典】ひらの区民モニターアンケート

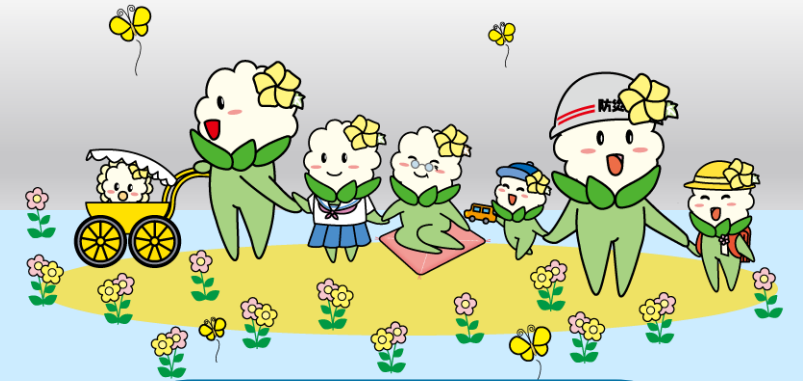


経営課題1

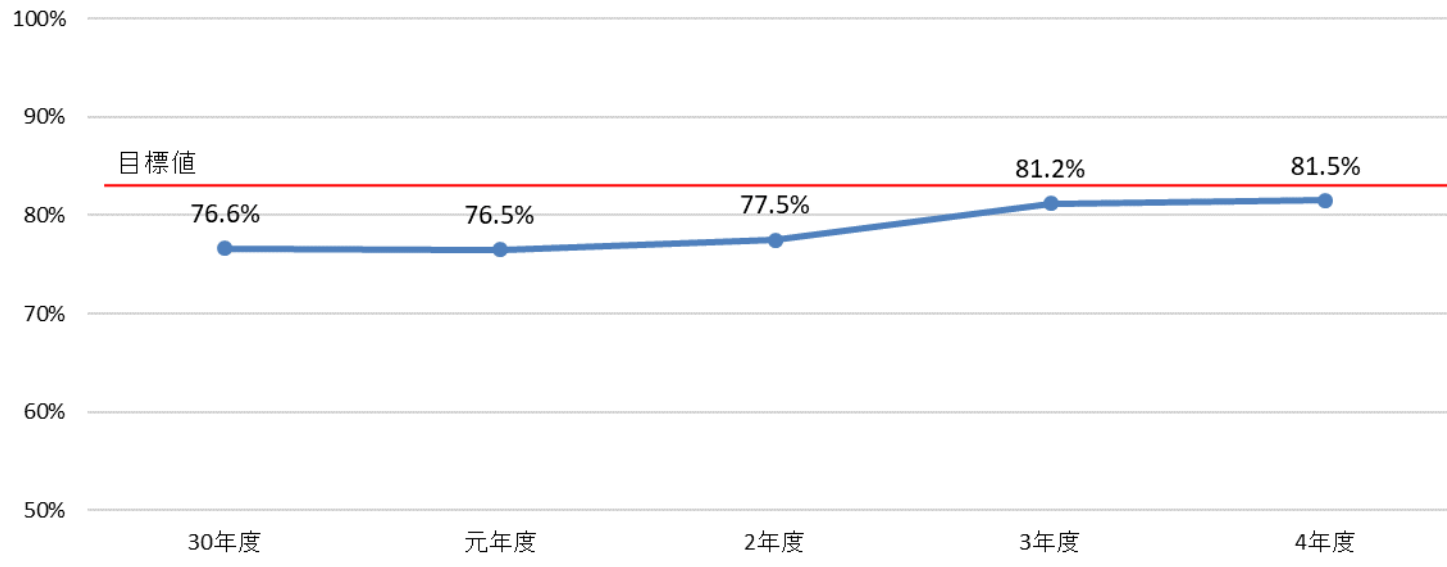
地域に応じた安全・安心のまちづくり(まちの魅力向上)

めざす状態(概ね3～5年間で念頭に設定)

- 区民ニーズ等を踏まえた未利用地の有効活用の方角性に基づき、まちの魅力の向上に取り組んでいる状態をめざす。



平野区に住み続けたいと思う割合



【出典】ひらの区民モニターアンケート

食料品など日常の買い物や地下鉄などの交通機関の利用のしやすさに利便性が高いと感じている声が多く、住み続けたいと感じる割合は上昇傾向にある。
今後も、よりよいまちづくりができるよう、区民ニーズの把握に努めていく必要がある。

具体的取組1－4 【まちの魅力の向上に向けた未利用地の有効活用】

区内未利用地の有効活用を図るため、区民が参画した場やアンケート等において区民ニーズの聴取を実施しました。
また、令和4年度には、長原駅前用地の開発事業予定者が決定しました。

(取組実績)

- 区政会議などによる意見交換の継続及び、
区民アンケートにより区民ニーズの意見聴取の実施
- 長原駅前用地の開発事業予定者の決定

取組によりめざす指標の達成状況

区政会議などの場において区民ニーズを把握

目標: 3回以上



実績: **5回**



【平野区区政会議(安全安心まちづくり分野)】

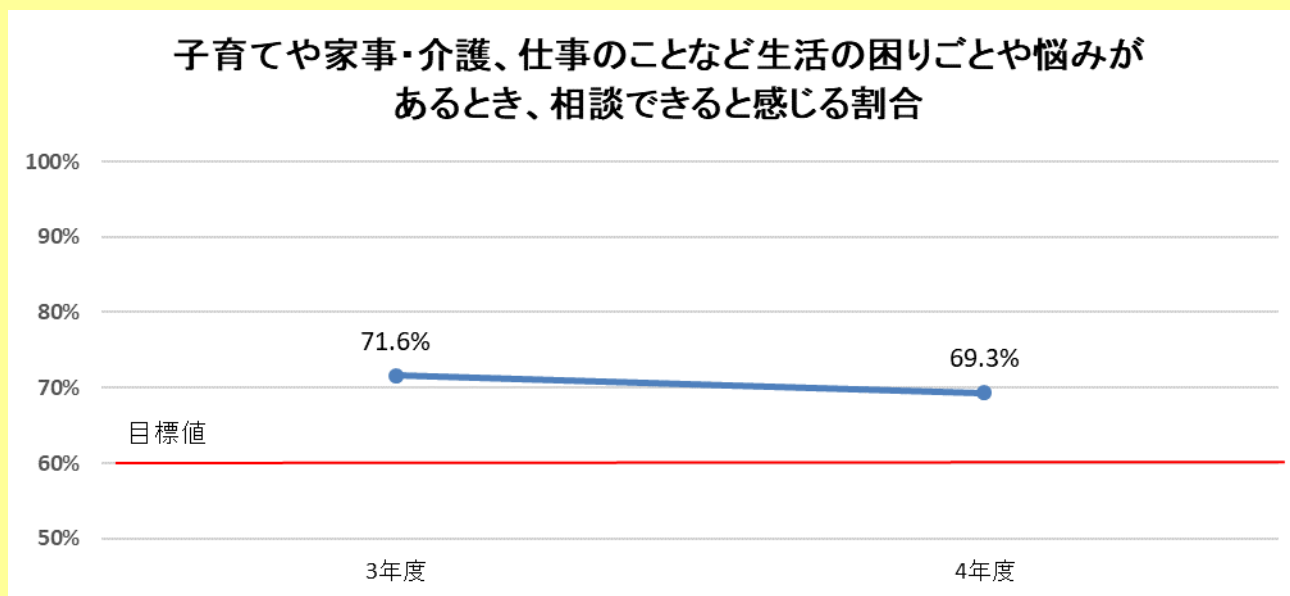
経営課題2

すべての人と人がつながり支えあえる福祉のまちづくり



めざす状態(概ね3～5年間で設定)

- 地域の実情に応じた地域支援体制が有効に機能しつつ、認知症や障がいがある人などのさまざまな状況に対する理解を深めながら、区民がつながり支えあい、住んでいる地域で健やかでいきいきと暮らしている状態をめざす。



【みまもり活動】

【出典】ひらの区民モニターアンケート

身近な相談や助け合いが行われていることなど、目標値を超える肯定的な回答があった一方で、否定的な回答の多くは「相談できる人や場所を知らない」との声であったことから、すべての人が地域で孤立することのないよう、「発見」「見守り」「支える」ための取組を一層充実させていく必要がある。

具体的取組2－1 【各地域の特性に応じた地域福祉支援体制の充実】

地域福祉のネットワークづくりを行うため、地域福祉活動コーディネーターの育成や、地域での見守りに関するノウハウの蓄積など、区社会福祉協議会と連携し、地域支援体制の充実を図りました。

（取組実績）

- 各地域の課題抽出や分析を行い、地域の福祉活動への支援など 5地域
- コロナ禍における地域の特性に応じた緩やかな見守りについて、連絡会等で共有・情報発信

取組によりめざす指標の達成状況

お住まいの地域で、緩やかな見守りや
相談活動が行われていると感じる割合

目標：75%以上



実績： **85.8%**

【出典】地域活動参加者へのアンケート調査

具体的取組2－2 【地域における支えあい活動への支援】

認知症予防の理解や健康寿命延伸を目的とした運動習慣などの取組支援を行い、地域においてその方らしく暮らし続けることができるよう努めました。

（取組実績）

- 地域における「いきいき脳活サポートマニュアル」等を用いた取組 51か所
- いきいき脳活検討会(5回)、いきいき脳活研修会(5回)を実施
- いきいき百歳体操 継続箇所 44か所
- いきいき百歳体操 サポーター養成者数 18人

取組によりめざす指標の達成状況

認知症についての情報を得て

自ら取組に参加したいと感じた参加者の割合

目標：70%以上



実績： **73.9%**

【出典】地域活動参加者へのアンケート調査

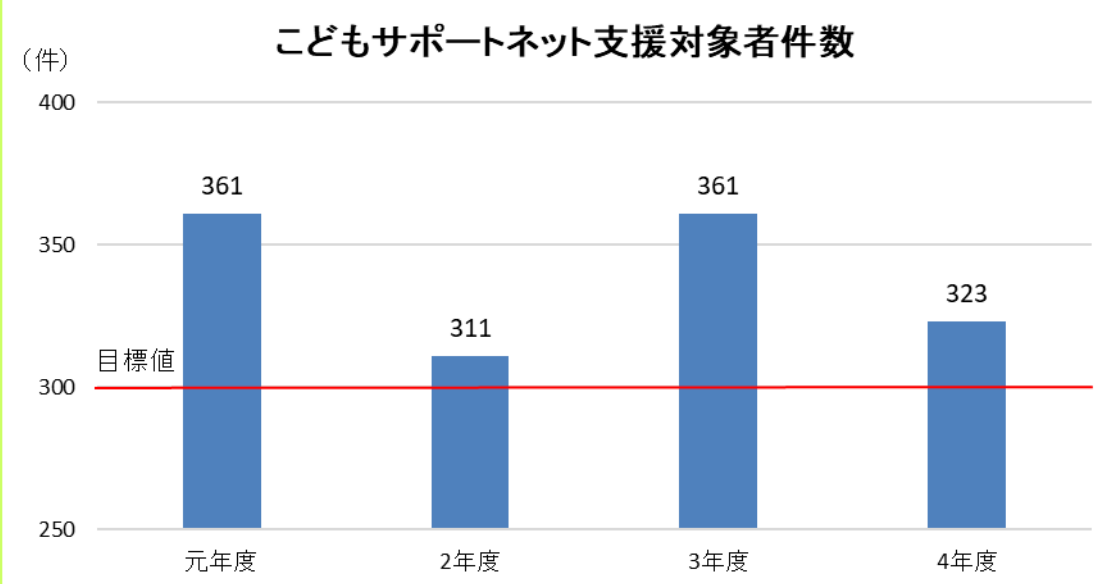
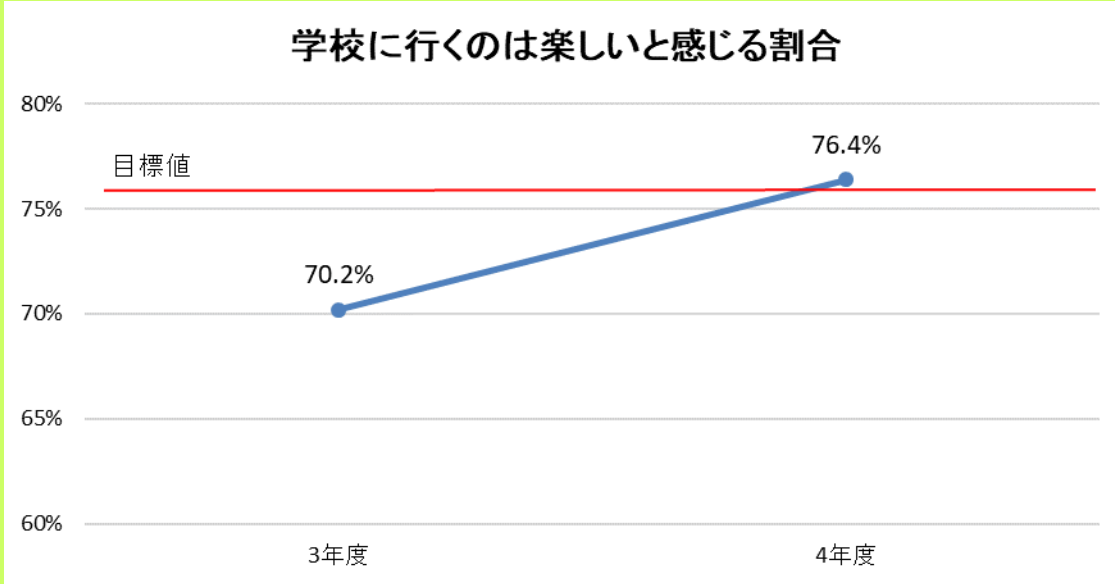


経営課題3

こどもが元気で育つまちづくり

めざす状態(概ね3～5年間で念頭に設定)

- こどもが「生きる力」を身につけ、自ら大人や友達と関わりを持ち育つことができる状態をめざす。
- すべてのこどもが適切な環境で養育される状態をめざす。



【出典】全国学力・学習状況調査

学校に行くのは楽しいと感じる割合は上昇しており、読書運動やこどもたちへの表彰など達成感やモチベーションアップにつながる取組に一定の効果はあると考えられる。
家庭環境に関わらず、こどもが自分らしくいきいきと成長できるように、対象者の状況に応じた相談支援などを引き続き行っていく必要がある。

具体的取組3－1 【児童虐待防止・早期発見への取組や子育てに悩む親への支援】

子育て支援者のスキルアップ講座や地域連携会議など児童虐待を未然に防ぐ体制の強化を図るとともに、親の孤立に繋がらないよう、子育てについての相談やイベント情報の発信につとめました。

（取組実績）

- 子育て支援者対象のスキルアップ講座 年2回
- HPやLINE等、インターネットを利用した
子育てに関する情報発信の充実 月5回以上更新
- 地域連携会議の開催 22か所実施



取組によりめざす指標の達成状況

子育てに必要な情報を入手できていると感じる、子育て世代の保護者の割合

目標: 60%以上 ➡ 実績: **48.9%**

【出典】子育て世帯向けアンケート



具体的取組3－2 【こどもの学習意欲の向上】

読書習慣の定着や表彰されることによる達成感・モチベーションアップなど
こどもたちの学習意欲向上につながるようつとめました。

（取組実績）

- 読書ノートを区内の市立幼小中学の児童・生徒に配布
- 読書ノートを活用し、一定水準を超えた児童・生徒を表彰
- がんばる小・中学生について個人及びグループを表彰



【区長表彰】

取組によりめざす指標の達成状況

読書が好きと答えた割合

目標: 76.5%以上



実績: **68.6%**

【出典】大阪市学力経年調査(児童質問紙調査)

具体的取組3-3 【こどもたちへのサポートや学校生活の定着支援】

こどもと子育て世帯が抱える課題に対して、学校における教育分野と区役所における保健福祉分野が連携し、総合的な支援を実施しました。

（取組実績）

- こどもサポート推進員が学校と連携し、支援の必要なこどもと保護者に対して総合的な支援を実施
- 高校生活の定着や卒業後の自立に向けた生活を支援

総合相談 21件 個別支援 28件(うち新規11件)

取組によりめざす指標の達成状況

- ・こどもサポートネット支援対象者件数

目標:300件以上 ➡ 実績: **323件**

- ・個別支援を行った者のうち、進級・卒業・転学・単位取得などにおいて前向きになった者の割合

目標:70%以上 ➡ 実績: **88.5%**

【出典】事業参加者(対象者)アンケート